

## 親子体験教室参加者募集

大田原市農村生活研究グループ協議会で親子体験教室を開催します。この機会に親子で料理作りを体験してみませんか。

## ●日時

10月20日(土)  
午前9時30分～  
午後0時30分

## ●場所

親園地区公民館  
(親園農村環境改善センター)



## ●内容

肉まん、あんまん、豆腐のケーキ風デザート、汁物の調理および試食

## ●対象

市内在住の親子

## ●定員

10組

## ●費用

1000円

## ●持参するもの

エプロン、三角巾

## ●申込方法

10月12日(金)までに左記まで電話で申し込み。

※定員を超えた場合は抽選となります。

## ■申し込み・問い合わせ

文 3階

農政課農政係

TEL (23) 8708

## 人・農地プランを決定しました

地域農業における農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」を解決するため、新規就農者の増加および農地集

積を促す「人・農地プラン」を策定しました。

●決定日 平成24年8月31日

## ●作成単位

市内10地域(大田原・金田・親園・野崎・佐久山・黒羽・川西・両郷・須賀川・湯津上)

## ●中心となる経営体(10地域の合計)

813経営体(認定農業者・集落営農組織・新規就農者など)

## ●その他の農業者

3264経営体

## ●今後の地域農業のあり方

効率的かつ安定的な農業経営を目指す「地域の中心となる経営体」に集積するよう、その他の農業者にも理解と協力を求めていく。

## ●プランを策定したことにより

○青年就農給付金(経営開始型)

○農地集積協力金

○スーパーL資金の当初5年間無利子化(認定農業者)

などの支援が受けられるようになります。独立自営で新規就農を希望している45歳未満の方、農業を辞めて農地を貸したいと思っている方、スーパーL資金を活用したいと思っている方で支援を希望される方は左記までご相談ください。

## ■問い合わせ

文 3階

農政課農政係

TEL (23) 8708

## ■問い合わせ

文 3階

農政課農政係

TEL (23) 8708



## ふれあいの丘 自然観察館だより

自然観察館には、「化石」の展示コーナーがありますが、この「化石」にスポットを当て企画展を栃木県立博物館のご協力をいただいて10月20日(土)から開催します。

「化石」には、地球上に現れては消えた生き物たちの進化の歴史のみならず、太古の気候や環境など多くの情報がつまっています。今回は第1回目として、昆虫や植物の化石、さらには旧葛生町で発見された「ニッポンサイ」の動物の化石などレプリカを含め、多くの展示品を展示します。はるかな時を超えて、皆さんに生命と地球の歴史を語りかけている「化石の世界」を家族の皆さんで探検してみたいはいかがでしょうか。

展示予定の化石などを栃木県立博物館の資料をもとに紹介します。

## ☆体長50cmの超大型トンボ

石炭紀の沼地の森林には大型の原トンボ(メガネウラ)が生息していました。現在のトンボとは羽根のつくりが異なります。羽根を広げると50cm以

上にもなりました。この大きさだと、現在の地球の酸素濃度では、飛行に必要な酸素が筋肉に行き渡りません。当時の地球の大気の酸素濃度は、今より高かったようです。

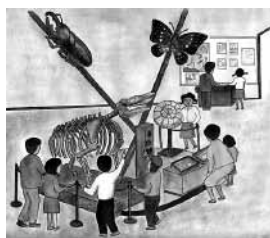
## ☆栃木県に生息していた「ニッポンサイ」

足尾山地南部の石灰岩地域からは、数万～数十万年前(第四期更新世)の陸上動物の化石が多産します。この中には、現在の日本には生息していない動物も含まれています。サイは、現在アフリカとアジアに5種類が生息していますが、絶滅の危機に瀕しています。

日本のサイ類の化石は、始新世、中新世、更新世の地層から発見されています。旧葛生町会沢から産出した化石をもとに復元した展示品のニッポンサイの体長は2.3mで、まだ幼獣だと思われています。



メガネウラ復元模型



企画展イメージ図



ニッポンサイの復元骨格

## ■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 TEL (28) 3131

URL <http://www.fureaino-oka.com/shizen/>